

外傷サーベイランス委員会会議録

会議体の名称	第8回外傷サーベイランス委員会
事務局(担当課)	セーフコミュニティ推進室
開催日時	2014年11月26日(水)
開催場所	第一委員会室
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外傷サーベイランス委員会について <ol style="list-style-type: none"> (1) 委員委嘱、委員紹介 (2) 委員長の選任について (3) 外傷サーベイランス委員会の機能について (4) SC活動におけるデータ収集の状況について 2. 児童虐待の防止について 3. 高齢者の安全(転倒、虐待)について
出席者	<ol style="list-style-type: none"> 1. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 市川 政雄 2. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 富尾 淳 3. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 水村 容子 4. 豊島区セーフコミュニティ推進協議会専門委員 白石 陽子 5. 池袋警察署生活安全課長 戸松 弘治郎 6. 豊島消防署警防課長 小久保 文正 (代理 豊島消防署警防課救急技術担当係長) 8. 豊島区セーフコミュニティ推進室長 齊藤 雅人 9. 豊島区高齢者福祉課長 直江 太 10. 豊島区治安対策担当課長 居原 豊 11. 豊島区危機管理担当課長 木村 俊雄 12. 豊島区子育て支援課長 猪飼 敏夫
提出資料	資料1 豊島区外傷サーベイランス委員会名簿(2014年11月現在) 資料2 外傷サーベイランス委員会の役割 資料3 SC活動におけるデータ収集の状況 資料4 アウトリーチによる子ども虐待の予防 資料5 高齢者の安全対策委員会資料 参考資料 豊島区救急搬送データ分析報告書(平成25年分)
議事要旨	議題1 <ul style="list-style-type: none"> ・ 市川政雄委員が委員長に選任される ・ 医療機関データの活用については、医療機関側の負担も大きく、受診者に区外在住者も多く含まれているため、網羅的な把握が難しかった。今後は、特定のテーマに絞ってデータが必要になった場合に、協力を依頼したいと考えている。 ・ 資料3の2ページ、対策委員会別のデータ収集状況一覧で一部訂正

あり。障害者の「傷害経験に関するアンケート調査」欄には○が入る。

議題2

- ・ 児童虐待の防止に関する取り組みについて、子育て支援課長より説明
- ・ 他区と比較して相談件数が多いとのことだが、予防に重点を多くセーフコミュニティの観点からすればなぜ多いかの分析が必要ではないか。
- ・ 児童虐待防止のネットワークがどのようにつながっていて、どのようなルートからどのくらいの情報が寄せられているか、図表で示すと分かりやすいのではないか。

議題3

- ・ 高齢者の安全(転倒、虐待)に関する取り組みについて、高齢者福祉課長より説明
- ・ 転倒の原因については救急搬送データなどで把握できるのか。把握することはもちろん必要であるし、その結果も区民に周知し注意喚起することが重要ではないか。
- ・ 筋力低下だけが原因なのか。海外では、筋力よりも関節の不具合や視力の低下なども原因として挙げている。運動だけでよいわけではなく、つまづいたのか滑ったのかによっても異なるので、やはり原因の分析は重要である。
- ・ プログラムに参加している人が、これもセーフコミュニティ活動の一環であることを知ってもらうことも重要である。案内にロゴを入れるなどして認知度を上げるような工夫が必要である。
- ・ 現在の豊島区では、対策委員会でプログラム等を企画し、実践は区民ひろばなどの現場で行われている。対策委員会の委員には、話し合われたことを自分の所属する団体に持ち帰って広げてもらう役割を担ってもらっている。こういった役割や位置づけを明確にしておく必要がある。

その他

- ・ 次回も2つ程度の対策委員会から取り組みを紹介し、委員から意見をもらいたい。3月までに開催したい。

閉会